

年 月 日

仕様書番号：FKST-160T

仕 様 書

御 中

JCS 5421:2021「ECO-FCPEE/F(従来の通称:EM-FCPEE)」

品 名： 着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル
FCPEE/F

富士電線株式会社
甲府工場 通信技術課

着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル

FCPEE / F

本仕様書は、JCS 5421:2021「ECO-FCPEE/F(従来の通称:EM-FCPEE)」に規定された着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープルについて定めたものである。

但し、ケーブルの使用温度範囲は-15～+60℃までとする。

1. 構造

- 1.1 導 体 JIS C 3102-1984（電気用軟銅線）に適合する軟銅線を用いる。
- 1.2 絶 縁 体 導体に着色ポリエチレンを指定された標準厚さで一様に被覆して線心とする。
- 1.3 対 燃 色別した2線心を平等に撚り合わせて対を構成する。

表1：対の識別

対 番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
第1種線心	絶縁体の色	青	黄	緑	赤	紫	青	黄	緑	赤	紫
第2種線心	絶縁体の色	白					茶				

- 1.4 「5Pユニット」 対番号1～5を集合し、識別テープの粗巻を施して「5Pユニット」を構成する。(付図参照) 識別用粗巻テープ：表2参照

表2：ユニットの識別粗巻テープ

ユニット番号	粗巻テープの色	ユニット番号	粗巻テープの色
1	青	11	青・茶
2	黄	12	黄・茶
3	緑	13	緑・茶
4	赤	14	赤・茶
5	紫	15	紫・茶
6	青・白	16	青・黒
7	黄・白	17	黄・黒
8	緑・白	18	緑・黒
9	赤・白	19	赤・黒
10	紫・白	20	紫・黒

1.5 撚 合

1.5.1 「1P～10Pケーブル」

1.3項の対を所要数指定の配列で円形となる様に撚り合わせる。

但し、隣接する対のピッチは異ならせる。

尚、ケーブルが円形となるように適当な介在物を挿入してもよい。

1.5.2 「15P～100Pケーブル」

1.4項の5Pユニットを所要数指定の配列で円形となる様に撚り合わせる。

尚、ケーブルが円形となるように適当な介在物を挿入してもよい。

- 1.6 遮へい 1.5 項上にアルミ箔付プラスチックテープを重ね巻きするか、または縦添えする。

縦添えの場合はその上に適当な粗巻を施す。またドレインワイヤとして錫めっき軟銅線を 1 本、アルミ箔面と接触するように縦添え挿入する。尚、必要に応じ、遮へいテープの上にプラスチックテープの縦添え、または横巻を施してもよいものとする。

- 1.7 外被 1.6 項上に耐燃性 PE (黒) を指定された標準厚さで一様に被覆する。
(構造表参照)

- 1.8 標識 ケーブルの適当な位置に製造社名略号等を連続表示する。

- 1.9 仕上外径 構造表参照

- 1.10 概算質量 構造表参照

2. 電気特性 (at 20°C)

項目	単位	規格		
		0.65mm	0.9mm	1.2mm
導体抵抗	Ω/km	56.8 以下	29.2 以下	16.5 以下
耐電圧	V/1 分間	A.C 350 又は D.C 500	A.C 500 又は D.C 700	
絶縁抵抗	MΩ km	5,000 以上		
静電容量	nF/km	平均 100 以下 (5P 以下) ※1P は適用外とする 平均 80 以下 (7~100P) (at 1kHz)		

3. 荷造り ケーブルは、1 条ずつをタバ又はドラム巻とし運搬中損傷しないように適当な荷造りを施す。

4. 完成品検査

- (1) 外観 (2) 構造 (3) 導通 (4) 2 項の電気特性

5. 難燃・発煙濃度・燃焼時発生ガス

項目		特性		試験方法
難燃	ケーブル	60 秒以内で自然に消えなければならない。		JIS C 3005:2025 4.26.2 b) 傾斜試験
発煙濃度	絶縁体及びシース	6 回の試験の結果、平均値が 150 以下でなければならない。ただし、始めの 3 回の値がいずれも 150 以下である場合は、3 回で合格とする。		JIS C 3612:2022 附属書 A
燃焼時発生ガス	絶縁体及びシース	酸性度	pH 4.3 以上	JIS C 3666-2:2023
		導電率	10 μS/mm 以下	

6. 注意事項

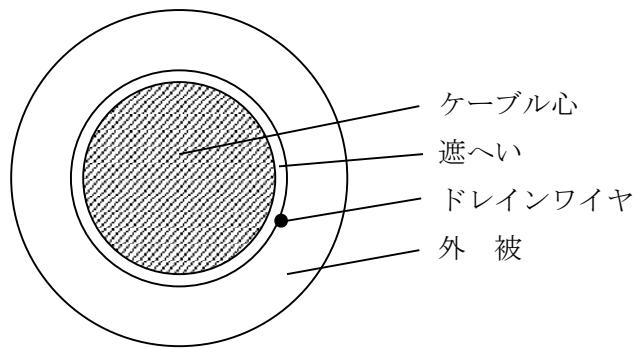
本ケーブルの外被材料（耐燃性PE）は、PEにハロゲンフリー難燃剤（水酸化マグネシウム等）を配合しているため、擦れたりすると白い跡が残る傾向（擦れ白化）がありますが、これは表面だけの現象であり、電気特性等に影響はありません。

また、耐燃性PEはPVCに比べ伸びやすい特性を持っているため、布設の際は過度な張力を加えないよう注意して作業を行ってください。

特に以下の注意が必要です。

- (a) ケーブルがコンクリートの床面等と直接こすれないようにする。
- (b) 電線管等の配管に引き入れる際には、入線剤（滑剤）を使用する。

構造図

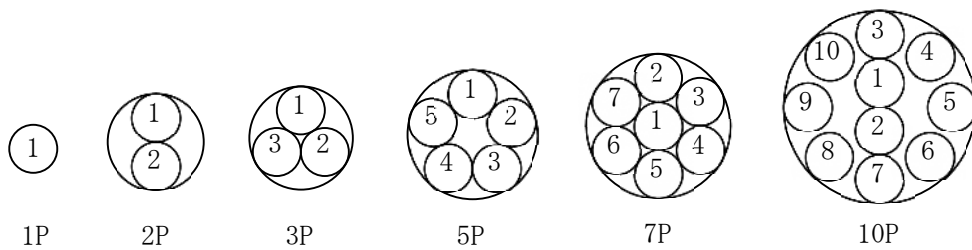


構造表

サイズ×対数 (mm×P)	導体径 (mm)	絶縁厚 (約 mm)	外被標準厚 (mm)	仕上外径 (約 mm)	概算質量 (kg/km)
0.65mm× 1P	0.65	0.18	1.0	4.5	25
// × 2P				5.5	35
// × 3P				6.0	45
// × 5P				6.5	60
// × 7P				7.0	75
// × 10P				8.5	100
0.9mm × 1P	0.9	0.23	1.0	5.0	30
// × 2P				7.0	50
// × 3P				7.0	65
// × 5P				8.5	95
// × 7P				9.0	125
// × 10P				10.5	170
1.2mm × 1P	1.2	0.3	1.0	6.0	45
// × 2P				8.5	80
// × 3P				9.0	105
// × 5P				10.5	155
// × 7P				11.5	205
// × 10P				13.5	280

配列図

・ 1P～10P (層型タイプ)



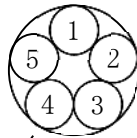
※図中の数字は対番号を示す。

構造表

サイズ×対数 (mm×P)	導体径 (mm)	絶縁厚 (約 mm)	外被標準厚 (mm)	仕上外径 (約 mm)	概算質量 (kg/km)
0.65mm × 15P	0.65	0.18	1.0	10.0	140
" × 20P				11.0	180
" × 30P				13.0	255
" × 50P			1.1	16.5	410
" × 70P			1.2	19.5	570
" × 100P			1.3	23.0	795
0.9mm × 15P	0.9	0.23	1.0	12.5	240
" × 20P				14.0	310
" × 30P			1.1	17.0	455
" × 50P			1.3	22.0	750
" × 70P			1.4	25.5	1,035
" × 100P			1.6	30.5	1,465
1.2mm × 15P	1.2	0.3	1.1	16.5	415
" × 20P			1.2	18.5	545
" × 30P			1.3	22.5	800
" × 50P			1.5	28.0	1,305
" × 70P			1.7	33.5	1,825
" × 100P			1.9	40.0	2,580

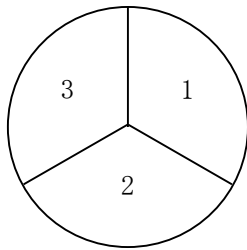
配列図

・ 15P～100P (5Pユニットタイプ)

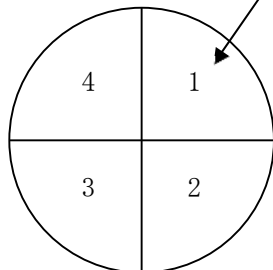


5Pユニット

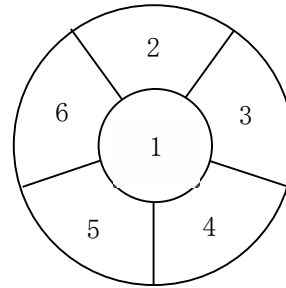
※図中の数字は対番号を示す。



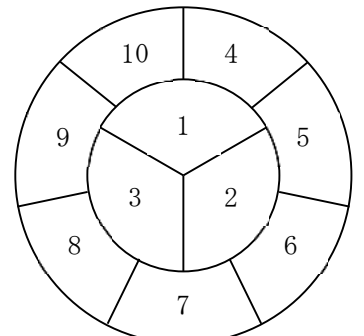
15P



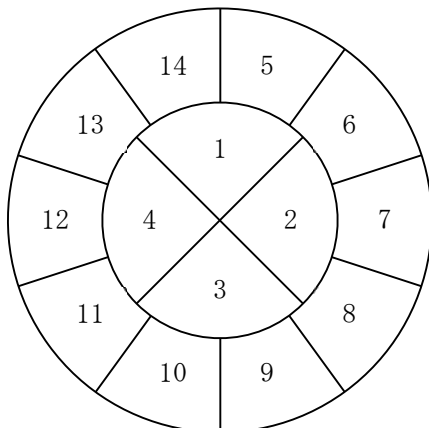
20P



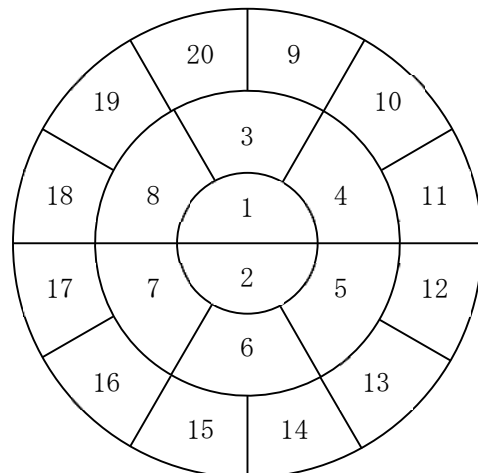
30P



50P



70P



100P

※図中の数字は5Pユニット番号を示す